

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 高知県 】

1 実践テーマ	【 I V 】
2 実施対象者	<p>ソフトボール</p> <p>① 県内中学校女子部員（19名）</p> <p>② 県内高等学校女子部員（24名）</p> <p>③ 県内指導者（6名）</p>
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名（ ）</p> <p>② 行事名（ ）</p> <p>③ その他（ ）</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名（ ）</p> <p>② その他（ 各競技団体での講習会 ）</p>
4 目標 (ねらい)	<p>オリンピック・パラリンピックを通じて「スポーツの価値や効果」、「障害者スポーツ」、「郷土や外国の文化」などに関する学びの機会を提供し、県民のスポーツに対する理解を深め、大会後も県民が主体的、積極的にスポーツ活動に参画する持続可能なスポーツ環境づくりにつなげるとともに、オリンピック・パラリンピックへの県民の意識を高め、2020年東京大会に多くの県民が主体的に取り組む機運の醸成を図る。</p>
5 取組内容	<p>競技団体において、オリンピック・パラリンピックそのものの学びとオリンピック・パラリンピックを通じた「スポーツの価値や効果」、「障害者スポーツ」等の学びを展開する。</p> <p>○馬場 幸子氏（2008年北京オリンピック日本代表）による 講演・実技講習会 ※実技講習会のサポートとして山根 佐由里氏も参加</p> <p>日時：平成29年12月24日（日） 場所：高知丸の内高校会議室 高知市総合運動場多目的ドーム 高知市総合体育館雨天練習場</p> <p>講師：馬場 幸子氏 演題：「続けること ～瞬間しかない～」</p>

- 内容：
- ・自己紹介
 - ・スポーツ（ソフトボール）を通して学んだこと
 - ・オリンピックへの道のり
 - ・体・心・技を磨くために 等



講演の様子



実技指導の様子



集合写真

<p>6 主な成果</p>	<p>講演では、オリンピックの意義や価値について説明があった。その後、競技を始めたきっかけや、競技を始めてから、オリンピックに出場するまでの過程を年代をおって話していただいた。参加者はそれぞれの年代で必要な技術やトレーニング方法を学ぶとともに、コミュニケーション能力を身につけることや周囲への気配り・心配りの大切さを確認した。</p> <p>また、目標や夢を明確に持ち、その目標や夢に向かって普段の生活やトレーニングを計画的に継続して取り組むことの重要性を認識できた。</p> <p>実技講習会は、基本の動きや、基本技術の重要性を確認し、普段の生活や練習から試合や大会を意識して取り組むようアドバイスをいただいた。</p>
<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>それぞれの種目において、県内の指導者と連携を図り、講演の内容や実技講習会の内容を考えた。そして、本事業の趣旨説明とともに本県の指導者が必要としている内容や、選手の状況を講師に伝え、選手や指導者にとって効果的な講習会になるよう留意した。</p> <p>また、参加する選手が実技指導を多く受けられるよう、ポジション別の実技講習会を行った。</p>
<p>8主な課題等</p>	<p>本事業の開始時期が年度途中となり、各競技団体への依頼が遅くなった。既に各大会や合宿等の日程が決定しており、学校行事との調整や会場の確保といった面から実施日の確定が難しく、当初6競技で実施を予定していたが、2競技での実施となった。</p> <p>事業に協力していただく講師の人選や日程調整と、各競技団体との日程調整を早い時期から始める必要がある。</p> <p>本事業で得られた成果を、いかに継続して広げていくのかが重要と考えている。</p>
<p>9来年度以降 の実施予定</p>	<p>次年度は本事業の担当課が、高知県教育委員会事務局保健体育課へ移り、義務教育を中心とした展開を予定している。本年度の取組の成果と課題を適切に引き継ぎ、新たな取組に生かしたい。</p>